煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

少年相談窓口があります！！

～ 悩まず、まず電話をしましょう ～

少年の非行・犯罪被害防止

平成30年中に検挙・補導した非行少年の総数は2,352人で、平成24年から７年連続して減少し、街頭犯罪（ひったくりや乗り物盗等）の少年の検挙人員も約４割（補導人員を含む）で前年より１割減少していますが、刑法犯で検挙した少年のうち、約３割が既に非行の経験を有している現状にあります。

また、近年は振り込め詐欺等の特殊詐欺や大麻等の薬物で検挙される少年が増加傾向にあり、いずれも高校生の検挙が増加し、中学生も検挙されている状況にあります。

県警察では、将来を担う子供たちを非行や犯罪被害から守る活動を推進していますが、この活動をより効果的なものとするためには、警察だけでなく、家庭や地域の皆様の協力が不可欠です。

地域ぐるみで少年の非行や犯罪被害を防止するための活動を推進していきましょう。

◎ これくらいは平気と思っていませんか。
- ○ 冗談で、「学校に爆弾をしかけた」とインターネット上の掲示板に書き込んだ。
- ○ 自慢や注目をされたいため、インターネット上に作成したウィルスソフトやわいせつな画像を掲載したりした。
- ○ 正当な理由がないのに、刃物等の凶器となる物を隠し持っていた。
- ○ うその 110 番、119 番通報をしたり、中学生以上が子供料金で電車やバスに乗った。

これらの行為はほんの一例ですが、全て犯罪行為です。

「友だちがやっているから。」「ネット上で他の人もやっているから。」
「注目されたかったから。」「軽い気持ちでやってしまった。」
こんな言い訳は通用しません。

※ 平成 30 年中に県内で発見・保護した家出少年は、886 人（前年比－ 18 人）で、全体の半数以上を小・中学生が占めています。

少年相談窓口の周知

子供のこと、また子供自身が不安や心配ごとを抱えていたら少年相談窓口へ

- ○ 子供の非行問題やいじめ、犯罪被害等で困っていることがありましたら、一人で悩まずに、最寄りの警察署や、ユースステレホンコーナー等に御相談ください。
- ○ 子供や保護者、学校関係者等からの相談を受付けています。

特殊詐欺に加わるよう脅されたり、組織を抜けたいと考える少年の相談窓口の開設

- ○ 振り込め詐欺等の特殊詐欺は組織で行われており、被害者からお金を受け取るための「受け子」やATMからお金を引き出す「出し子」の勧誘に力を入れています。
- ○ 勧誘方法も友人や知人からの誘いの他、インターネットの掲示板や歓楽街でのスカウト等、ありとあらゆる手段で勧誘をしてきますが、一度加担してしまうと組織で暴力行為や脅しを使って離脱を阻止してきますし、警察に捕まっても助けてくれません。
- ○ 切り捨てるだけです。断りたい、抜け出したいという少年からの相談を専用電話で受けています。

● 神奈川県警察少年相談・保護センター ●

☎0120-45-7867（よいこ なやむな）

FAX☎045-641-0045（まるまるよいこ）
☎045-641-1975

特殊サギ救出テレホン「SOS」●
☎045-641-5014（むしのいいはなし こわいよ）

受付時間
平日（月～金曜日）八時三〇分～一七時一五分
【祝日、年末年始を除く】
神奈川県警察少年相談・保護センターでは専門の相談員が少年の非行問題やいじめ、犯罪被害等に関する相談を受け、その立ち直りを支援しています。専門の少年相談員が親身になって相談に応じますので、安心して相談してください。

事 件 記 録 板

6月中旬から7月中旬までの事件は、

- ・ ８月７日から８日に掛けて、下地区で建築現場で建設機械の盗難が発生しました。最近同様の工具や建設機械等の盗難が発生してます。先月も同様の事件が発生していますが、どうか扉には施錠をするなど盗難防止の措置をお願いします。

※ 毎月振り込め詐欺について毎度、毎度、注意喚起していますが、本当になくならないんです。皆さん、どうか騙されないようご注意ください。

※ 最近の特殊詐欺は、同僚、上司や役所や警察を語るなどをして、直接現金やキャッシュカードを取りに来る手口が多くあるようです。

絶対に現金を渡したり、暗証番号を教える事がないようにしてください。また玄関に防犯カメラなど設置することで、訪問する事もないと思います。こうした詐欺師は、まず捕まらない事が一番で防犯カメラの有無を気にしているのです。

駐在所の独り言　～祝！結婚！！～

先日の小泉進次郎さんと滝川クリステルさんの結婚が大きな話題になっていましたね。進次郎さんが父親の元首相の純一郎さんに結婚報告をすると、そうかそうかと喜び、一度は結婚した方がいいよと答えたようです。かと言って一番大事で関心事である相手が誰かを尋ねなかったというのは、私自身も同じ親としての心境が痛いほど分かるんですよね。おまえが望んだ結婚相手なら誰であっても反対しないよ、良かった良かったということでしょうか。またクリステルさんの名前を間違えたり、司会者？なんて聞くのは、分からない振りをする照れなのかとも思いました。なかなか、おちゃめなところが元小泉首相らしい、さすがだと感動してしまいました。結婚って男性も女性も相手次第で人生が変わったり、また相手が変われば其々別の人生もあったりするのでしょうね。また、先が分らない結婚だからこそ相手を想い頑張って一緒に悩み、葛藤しながら頑張っていけるのでしょう。実は、今月息子の結婚式なんです。進次郎カップルは３歳差の年上女房とのことですが、息子も１歳差の年上女房なんです。プロ野球選手に年上女房が多い事が知られていますが、昔から「年上の女房は金の草鞋（わらじ）を履いてでも探せ」と言われてます。姉さん女房の方が相性がいいとか、長く一緒にいられるとか言いますね。また人生少し長く経験している分、不安や弱気になりがちの夫に頼もしいという心境と安心感を与えたり、私がしっかりしなきゃなんて思えることで上手くいくのかもしれません。こんな事を思いながら、時折、現実に戻り結婚式が不安になるんです。よく人が環境を作り、環境が人を作るとよくいいます。また「類は友を呼ぶ」や「引き寄せの法則」も、その通りなのかなと思い、いい環境に、いい人が集まり、いい人と結びつけるという事かもって思いました。お嫁さんとの出会いは、この環境があったからのようです。お嫁さんの親族は、国立大学教授等の学者、研究者が多く、また息子も含め同僚も研究者なので、ある面、式場は、一種、同類揃いの似た者同士なんですかね。私だけが、笑いのツボが外れて馬鹿な話をしたり、酒を飲み過ぎて羽目を外すことがないようにと不安にも思うんですね。でも祝！結婚ですから、元気に出席しますよ。